

科目名	政策を経営する
担当者	友成真一
配当学期	秋学期
単位	2単位
授業概要	<p>「政策」とは、社会をある方向に動かすためにとる方策である。一般的には「行政」の領域で実行されるものであるが、さらに広く実行領域をとらえることもできる。「経営」とは、「持てる資源」を活用して「目的」達成を継続的に行うことである。</p> <p>よって、「政策経営」とは、「政策」の「目的」をさだめ、「持てる資源」を活用して、社会をある方向に動かすつづけることを意図した行為である。行政が行っている「政策」には、真の「目的」が見えず、社会をある方向に有効に動かしているとはいいがたいものが多い。</p> <p>この科目では、実際に「政策」を立案する疑似体験を通じて、「政策経営」の本質に迫ることを目的とする。その際、現役の官僚のロジックに迫り、「政策経営」の裏側にある事情を把握し、「政策立案者」である官僚の思考形態への理解を深める。さらに、政府が行っている既存の政策立案過程が陥っている落とし穴を理解し、それを乗り越え、新しい政策立案のあり方を追求する。なお、取り上げる課題は各グループで決定し、グループワークの形式で実施する。</p>
授業の到達目標	既存の政策立案の構造的問題と、政策の本質を理解し、新しい政策づくりに対する自らの考えを深めることができるようになる。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> ① オリエンテーション、講義の進め方を議論、グルーピング ② 「政策経営」とは何か、各グループで政策課題の決定 ③ ステイクホルダー分析 ④ 各グループによる中間発表 ⑤ 同上 ⑥ 政策ターゲットの設定 ⑦ 政策の成功イメージ ⑧ 政策立案 ⑨ フィールド調査、政策立案者を触る ⑩ 同上 ⑪ 各グループによる政策発表 ⑫ 同上 ⑬ 全体ディスカッション、政策のブラッシュアップ ⑭ プレゼンテーション大会 ⑮ しめくり全体ディスカッション

教科書	「問題はタコつぼではなくタコだった!？」(2008年、ディスカヴァー携書、友成真一著)	
参考文献		
成績評価方法		評価基準
	試験 0 %	
	レポート 0 %	
	平常点評価 100 %	出席点 50 % アサインメントとグループへの貢献度 20 % グループ発表内容 30 %
	その他 0 %	
関連 URL		
備考		